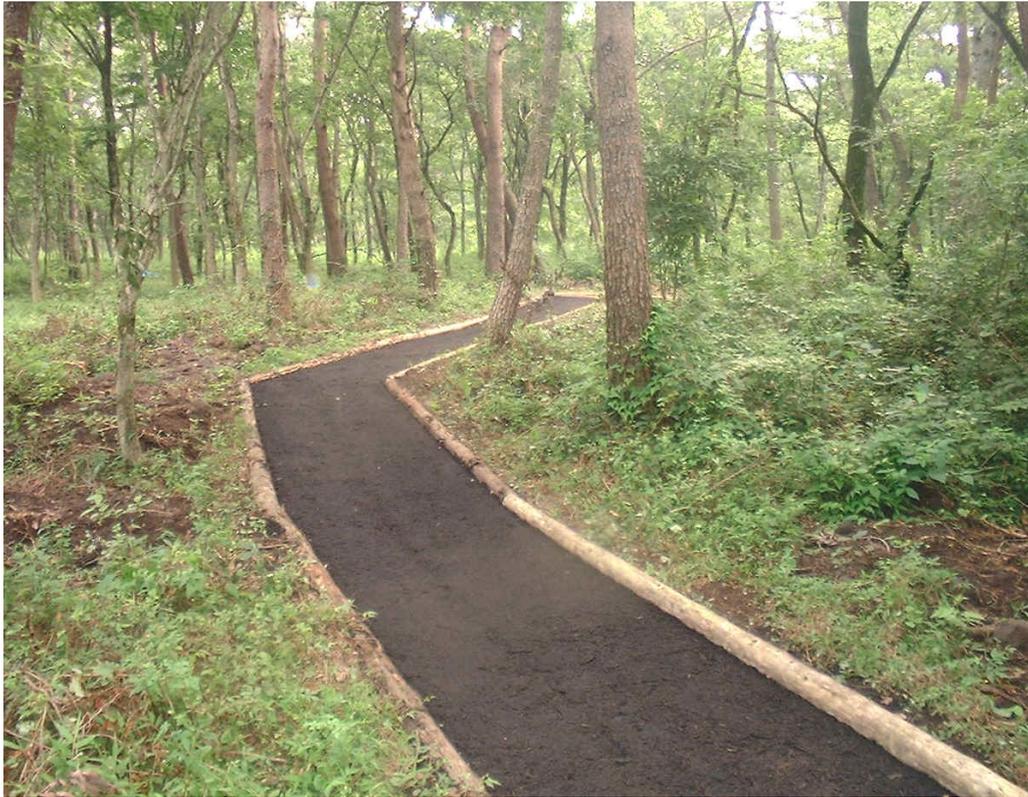


受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

平成20年度 国土交通大臣賞 受賞	受賞者名
	小木曾建設株式会社
	所在地
	長野県飯田市
受賞テーマ	
現地発生木材及びリサイクル材料を利用したウッドチップ舗装工法の施工・普及	
1. 活動継続 あり	
<p>受賞以来、民間工事・公共事業への普及を重点にPR活動を継続しており、おかげさまで近隣地域から継続して声が掛かっている。</p> <p>環境文化都市 長野県飯田市の天竜峡再生プログラムの一環として、天龍峡公園の遊歩道整備工事に複数年度ご採用いただいた。</p> <p>平成 27 年度には長野県の「信州ふるさとの見える丘」に認定されている、長野県豊丘村のてっぺん公園の遊歩道にも採用いただいた。地元発生木材が景観にマッチしたウッドチップ遊歩道になり、利用者の皆様から好評を得ている。</p>	
	
<p>過去の採用箇所をご覧になられた方々の反響があり、陸上競技施設や飲食店のアプローチなどにも採用いただいた。</p>	
2. 活動の広がり あり	
<ul style="list-style-type: none">・ 地元長野県内の森林や景観を大切にする地域で普及し、実際に採用して頂いている。信州の森の小径の整備事業や地元の道の駅建設工事でも採用を検討頂いている。・ 採用される場所が、山野から公園などの人の生活する場所等へも徐々にシフトしてきている。長野県上伊那郡の駅前の都市公園でも採用いただいた。	
3. 活動の進化 あり	
<ul style="list-style-type: none">・ 他の動植物系廃棄物などを有効利用できる様に更なる改善研究を行っている。・ 震災復興の公園整備等で地元産の廃木材を利用し、地域おこしに再活用して頂ける様に研究をしている。	

4. 今後の計画

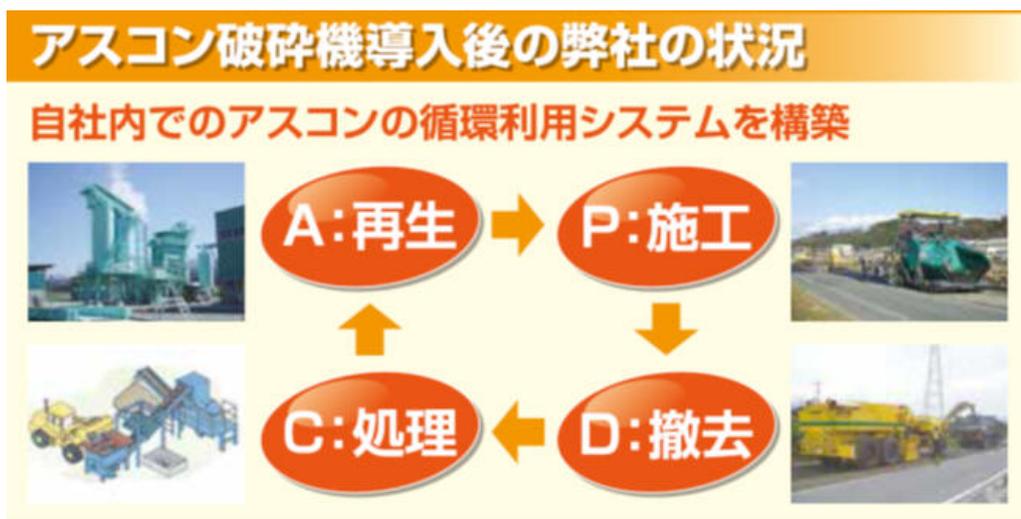
本工法は自然に優しく、木の香りを感じられ、歩き心地も良いので今後は信州の森の小径の整備事業や他地域での森林セラピー基地などへの採用をして頂けるようにPRしてゆきたい。



5. その他

社内にアスコン※の中間処理施設を設置し、自社内でアスコンのリサイクルに努めている。当社が得意とする道路舗装の延長線上で、資源の有効利用と地域での再生アスファルト技術向上に貢献できる様に努力している。

※アスコン：アスファルトコンクリートの略。粗骨材、細骨材、およびフィラーにアスファルトを加熱混合した混合物、またはこれを締固めたもの



(次頁に表彰概要掲載)

【表彰概要】

同社は、植物系廃棄物を利用したリサイクルウッドチップ舗装工法「セラタン舗装」を普及・施工している。

オガクズ・モミガラ等の植物系粒子状材料や間伐材・街路樹の剪定枝・製材端材をチップ化し、さらに粒子化したものを炭化させ、工事現場等で発生した木材を破砕したウッドチップの木質繊維内に練入して舗装材を製造し、敷き均し・散水・締固めして舗装として使用する。

本工法の主な特徴は以下の通り。

- ①施工に際し、特殊な機械や化学的接合材等を必要とせず、環境負荷が少ない。
- ②仮に舗装に不具合が出て散水と靴底で踏みつけることですぐに修繕できる。
- ③難燃性素材であり、かつ木質分解が遅く、腐食による悪臭が発生しない。
- ④舗装が劣化した際も、めくって処分する必要が無く、古いセラタン舗装の上に新しい舗装をオーバーレイして再使用することが出来る。

本工法は、資源の再利用と環境に配慮した舗装工法として国土交通省や地方自治体の工事で採用され、国交省新技術情報提供システム NETIS にも登録されている。また、同社では本工法を業界全体に広めるために、発注者と同業他社に対しても技術やノウハウを開示している。

さらに同社では、ホタテ貝殻を 1.0 mm 以下の微粉末に破砕し、本工法に使用する開発を進めており、年間約 4 万 t 未処理状態で放置されているホタテ貝殻の有効利用に寄与することが期待される。



敷均状況(セラミック炭と一緒にあった現地産
ウッドチップは茶色な舗装材料になる)



完成したセラタン舗装